

10-10. 産業別平均給与総額

平均給与総額（定期給与総額、月額）を産業別にみますと、「金融・保険業」が419千円と最も高く、「不動産業」が331千円と最も低くなっています。また、男女別にみると、男性では「金融・保険業」が最も高く、「卸売・小売業」が最も低くなっているのに対し、女性では「金融・保険業」が最も高く、「不動産業」が最も低くなっています。

産業別平均給与総額（平成16年）

<男女計>

区 分		平均給与総額 (千円)	平均年齢 (歳)	平均勤続年数 (年)
全 体		352	39.3	12.5
産業分類	建設業	400	39.8	14.6
	製造業	351	40.1	14.5
	運輸・通信業	358	42.8	14.4
	卸売・小売業	344	37.7	12.9
	金融・保険業	419	39.2	12.3
	不動産業	331	40.7	9.6
	サービス業	343	38.6	10.0

<男性>

区 分		平均給与総額 (千円)	平均年齢 (歳)	平均勤続年数 (年)
全 体		386	40.6	13.9
産業分類	建設業	420	40.7	15.3
	製造業	379	40.9	15.6
	運輸・通信業	378	44.3	15.3
	卸売・小売業	376	39.2	14.3
	金融・保険業	502	41.8	14.2
	不動産業	392	41.7	10.7
	サービス業	388	40.1	11.3

<女性>

区 分		平均給与総額 (千円)	平均年齢 (歳)	平均勤続年数 (年)
全 体		260	35.6	8.6
産業分類	建設業	256	33.7	9.6
	製造業	244	37.0	10.0
	運輸・通信業	251	35.0	9.3
	卸売・小売業	241	33.1	8.7
	金融・保険業	274	34.5	8.8
	不動産業	231	39.0	7.8
	サービス業	275	36.3	7.9

(大阪府商工労働部「基本的労働条件調査報告書」)

